

令和 5 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	大竹市立大竹中学校	校 長	十亀 琢磨	生徒指導主事	井手 正典
取組事例名	『美化コンクール』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
日頃から真面目に掃除に取り組んでいる生徒一人一人がより一層学習環境の美化に気をつける態度を養うことや学級としての一体感を高めること。	「時を守り」「場を清め」「礼を正す」礼節のある生徒 自分たちが活動する場に感謝の気持ちを持ち、きれいに保つといった使命感を育てるとともに、クラスの一員としての協調性を育てる。



2 展 開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
実施場所 … 教室 美化コン週間 … 美化コンクールの前の 5 日間、帰りの SHR の後に教室内の清掃を行う。 審査対象 … ①ロッカー（ファイル等の整理整頓等） ②机（机上の汚れ、机の整頓） ③窓・サッシ（清掃） ④床・ドア（清掃） ⑤黒板・チョーク入れ（清掃） 審査基準 … 5 段階で評価する 4 … 大変きれい 3 … きれい 2 … もう少しきれいに 1 … 残念 0 … 全くできていない 審査員 … 美化委員長、美化委員長補佐、 美化担当の教員、美化委員 18 人 計 23 人 美化委員による審査 1 美化コンクール当日の放課後、美化委員は、筆記用具を持って職員室前に集合 2 学年別に全クラスを審査していく 3 審査結果を集計し、優秀クラスを表彰する。	生徒にめあてをもたせるために 審査対象や審査基準をあらかじめ全校生徒へ伝え、具体的にどのように取り組めばよいか理解させて取り組ませる。 生徒の意欲を高めるために Unity（クラスマッチ形式）で実施し、優秀クラスを表彰することで意欲を持たせる。 生徒の頑張りを認め、価値付けるために 学期に 1 度終業式で Unit の表彰をするとともに Unity のポイントが高いクラスにはベルマークで買ったボールなどクラスで使える賞品が与えられる。



3 成果と課題
成果としては、大竹中では「やりきり清掃」といって以前から掃除をしっかりと取り組む土壌があるので、美化コンクールでは、教室の隅々までとてもきれいにすることができる。また、Unity として他の委員会活動と一緒にポイント化して表彰するので、クラスの団結力を高めることができる。 しかしながら、近年令和 3 年の 95.9%を境に「掃除をしっかりと取り組んでいる」と答えた生徒の割合が下がってきている（令和 5 年度 92.4%）。また「Unity を頑張っている」の問いに 1 学年の肯定的評価が 50.5%と他学年より 20%以上低くなっている。